

楽しくつながる
プロジェクト
2025

ワークショップ&シンポジウム

～共生社会実現のために～

2026年 2月11日 水祝

会場 新宿NPO協働推進センター
新宿区高田馬場4-36-12 ☎03-5386-1315



<https://x.gd/jXw7f>

《楽しくつながるプロジェクト》とは？

日本演出者協会は、演劇で社会に役立つことを使命とし、全国各地での育成事業に取り組み、この数年間では各地の要請で社会包摂に関する講座を開催してきました。2018年、社会包摂部を立ち上げ、演劇が各地域の「共生社会」実現に向けて意義ある役割の一端を担えるよう努めています。2020年8月からは、文化庁の委託を受け、孤立や差別がなく、人と人が優しくつながることを目標に《楽しくつながるプロジェクト》という事業を推進しています。

ワークショップ

様々な障害のある人たちと演劇・身体表現・音楽など多様な手法で長くワークショップを実践してきた小松原修さん、作業療法士の視点から演劇をコミュニケーションツールとして応用している川口淳一さんを講師に迎え、ファシリテーターや共生社会の活動に興味がある方を対象にしたワークショップを行います。



ワークショップ 10:30～12:00

A 「インクルーシブ教育を意識したワークショップの在り方」

認知や言葉の違い、身体的な制限などさまざまな条件の下で、ここに参加してくれているみんなが、【楽しかった、活躍できた】と思ってもらうことを必ず大切にしてきました。今回は、教育の専門家として、インクルーシブ教育を意識した内容に触れたいと思います。



こまつばら おさむ

講師／小松原 修

佐賀大学大学院准教授。ファミリーシアターやエイブルオンラジオなど、演劇・メディアを使って、障害当事者の魅力を新しい形で社会にブランディングしている。KDAサポートセンター(2020年～2022年)、岡山(2023年～2024年)にて舞台演出等。2018年「障害者の生涯学習支援」文部科学大臣表彰。

ワークショップ 13:00～14:30

B 「居場所や居心地を意識したワークショップ」

居場所、居心地。そこに「居る」ということは実に個性的で魅力的な行為だと思います。何かをやるというdoingと、同じ空間に佇む being をのんびりと感じ合えることを、体験を通して皆さんと考えることができたらと思います。



かわぐち じゅんいち

講師／川口 淳一

作業療法士(茨城県)。長崎大学医療技術短期大学部卒。長崎では学習障がい児との演劇活動「のこのこ劇団」を立ち上げる。その後、北海道富良野市の介護老人保健施設にて、高齢者が演劇創造に参加する機会を提供し、役割が明確な作業の効果について検証する。著書「リハビリテーションの不思議——聞こえてくる高齢者の〈こえ〉」(青海社)がある。

参加費 ワークショップA・B 各2,000円

定員 ワークショップA・B 各25名(手話通訳あり)

応募条件 共生社会実現にむけた演劇ワークショップに興味がある方、ワークショップの進行をしたい、もしくは、ワークショップを学びたい高校生以上の方。

※ワークショップの様子を写真・映像等で撮影します。撮影した写真・映像等は、報道やオウンドメディアへの掲載、各種報告書等で使用する場合があります。※高校生は、参加にあたり保護者の同意が得られること。

応募方法

Googleフォームからご応募ください。

<https://forms.gle/BwXv9ujn5ybaEiFy9>



お申込み締切 2026年1月13日(火)10:00

※応募者多数の場合には抽選を行います。結果につきましては、1月16日(金)までにメールにてお知らせいたします。

文化庁委託事業「令和7年度障害者等による文化芸術活動推進事業」
(文化芸術による共生社会の推進)を含む《楽しくつながるプロジェクト》～共生社会実現のために～
主催：文化庁・一般社団法人日本演出者協会 制作：一般社団法人日本演出者協会

